

# 逗子の景観まちづくり

## 瓦版 第六十四号

二〇一九年七月十五日 次号は十月発行予定

編集 逗子市環境都市部まちづくり景観課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百五十字以内の

景観に関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり景観課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.lg.jp

### 『ビーチコーミング』

逗子と言えば海。三方を山に囲まれ、美しい弧を描く逗子湾。遠浅で波穏やかな海である。西浜の端から歩き始め、暫くすると富士山が姿を



「飯島公園から材木座を望む」 絵 葉山 富弘

現す。遠くに江の島、晴れた日には水平線の彼方に伊豆の山々も臨める。浜辺伝いにゆっくり歩いて往復約二キロ、時間にして小一時間、散歩するに程良い距離である。広からず狭からず、逗子湾のそのこじんまりしたスケールは人の心を和ませる。ランニングをしたり、犬を散歩させている人も多い。犬仲間の楽しそうな語らいを背に、一定のリズムで寄せる波の音を耳に、何も考えずゆっくりのんびり歩を進めていくと、何とも言えない幸福感に包まれる。

まだ東京に通っていた頃、週末ともなると早朝まだ空気が澄んでいる内に、貝殻を拾いにしばしば海へ出ていたものだ。我家は海まで五分、桜貝に始まったそれは様々な貝殻に広まり、いつしか立派なコレクションとなった。貝殻に限らず、時には流木、ビーチグラス、石コロであったりする。海からの漂流物は美しく楽しいものに溢れている。いわゆるビーチコーミングである。運が良ければパンの形をしたウニの仲間のカシパンを拾える。シービスケットとも言われる。その表面には何と星の形がデザインされている。自然と時間という偉大な芸術家が造りあげた色と形。

まさに神の仕業としか言いようがない！



「逗子海岸」 絵 山田久美雄

海からの贈り物は驚きに満ちている。海へ出れば雑念や悩みごとなどは風に溶け、波が沖へ流してくれる。逗子で生まれ育った私にとって、逗子の海は永遠である。

文 葉山 富弘



## 景観計画推進プランってなに？ 2

前回の瓦版では、逗子らしい美しいまちを育てるために2017年3月に策定した「景観計画推進プラン」の概要についてご説明しました。今回からは前回ご紹介した5つのテーマの具体的な取り組みについて、それぞれご紹介していきます♪

### 今回のテーマ 公共施設・公共空間

道路・河川・公園・橋等の大型公共事業からのぼり旗のような小規模な事業まで、公共物を作成する場合は景観に配慮するよう、各課・各機関に市からお願いをしています。

公共事業の計画は、デザイン案をまちづくり景観課に提出してもらい、必要によって景観審査委員会（景観条例対象の案件について審査を行う委員会）に意見を求めるなど、よりよいデザインとなるよう調整しています。

市の中でもシンボリック的存在となりやすい公共施設や公共空間が先導をきって景観に配慮することで、みなさんに景観について意識してもらおうきっかけの一因となるよう努めていきたいと思えます。

### 自然の回廊の個別マップができました

公共施設・公共空間のアクションの1つ、自然の回廊プロジェクトの「個別マップ」を市で新しく作成しました。経済観光課の窓口で配布しています。HPにも公開していますので、ぜひ見てみてくださいね♪



自然の回廊 ハイキング・ウォーキングコース

検索

## 逗子景観賞 Vol.7 神武寺駅前の岩屋

取材：逗子文化の会

京急逗子線の神武寺駅を出てすぐ、アザリエ団地へ向かう道の入り口に、お地蔵様が祭られた小さな岩屋があります。イチヨウの木とともに1995年第4回の景観賞を顕彰しているうちのひとつです。イチヨウは伐採され、プレートも紛失していますが、顕彰当時の記録によると、米軍接收地内の田んぼに埋まっているお地蔵様が見つかり、この岩屋に納められたとのこと。現在はご近所の有志の方々が、岩屋とお地蔵様を守っています。お地蔵様の衣装をつくっている方によると、季節などに合わせて年に3～4回ほど着せ替え、その際には周りの草むしりもされているそうです。

すぐ近くには小川が流れ、6月には紫陽花と夾竹桃（キョウチクトウ）の花が咲いて緑が濃く、のんびり散策するにもよい場所だと感じられました。



### ●再演！今年もナゾトキ景観まちあるきを開催します

- 開催は10月19日（土）午前を予定しています。
- 募集など詳細は、市HPをご確認ください。
- ※昨年度と同様の内容になります。



## 逗子美術協会のご紹介

～表面の絵と文を寄せていただきました～

逗子美術協会（会長：山田久美雄さん）は、「美術の街・逗子」を創ろうと活動している市民団体です。平成元年に設立され、現在会員は約60名います。

美術を通して地域支援活動、社会福祉活動にも参加しています。会員のジャンルは水彩・油彩・日本画・パステル・ちぎり絵・陶芸・トルペイントなどさまざまです。

7月はJR逗子駅文化コーナーで工芸品の展示、8月は池子スマイル・小坪小学校でこどもアート講座を実施予定。



連絡先

事務局 佐藤さんまで

電話 046-873-8553

年会費は3000円です。



瓦版編集担当 逗子市環境都市部まちづくり景観課



逗子市HPやフェイスブックも見てくださいね！

瓦版のバックナンバー・瓦版冊子は逗子市庁舎一階、まちづくり景観課窓口、市民交流センターに配架しています。